



氷川町教育委員会指定 氷川町立竜北西部小学校研究発表会(11/29)

11月29日(金)に氷川町教育委員会指定 氷川町立竜北西部小学校研究発表会が開催されました。今年度は1年生、4年生、5年生、そよかぜIで、算数の授業が行われました。

研究主題を「児童の主体性を育む学習活動の工夫～『ひ・か・わ型学習とICTの効果的活用において～』として取り組みました。

公開授業では、中学年部において特別支援学級と通常学級の共同学習、特別支援学級において3学年にまたがる複式授業、低学年・高学年において「めあて」づくりと話し合いを大切にしました。

町内外から100人以上に参加していただき、子どもたちが主体的に学習する姿を見ていただきました。子どもたちにとっても、とても励みになったことと思います。これからも、子どもたちに力がつくように指導していきたいと思ひます。

また、保護者、コミュニティ・スクール委員、保育園の先生方、地域の皆さまにも授業を参観していただきましたこと、とても感謝しております。



1年生の授業風景



「竜西の一致団結」 ～コミュニティ・スクールの取組み～

竜北西部小学校では、学校の教育目標である「ふるさとを愛し、夢の実現に向けてたくましく生きる竜西っ子の育成」に向けて、コミュニティ・スクール委員や保護者・地域の皆さまに支援していただき、様々な取組みが行われています。



自分でできるセルフケア!

子育て支援サロン 竜西かたらん会

昨年度より、子育てを頑張る保護者を支えるために、コミュニティ・スクール主催で子育て支援サロンが開催されています。昨年度は、長期休業などに合わせて数回の開催でしたが、本年度は、毎週第2木曜日の定期開催となりました。保護者の情報交換の場やほっとできる場にしたいと、お茶を飲みながら楽しんでできる内容が考えられています。「自分でできるセルフケア!簡単な体の整え方」、「不器用でも大丈夫 簡単・楽しいハンドメイド」、「郷土の簡単おやつ作り」などを主なメニューとして開催されました。毎月の開催となり、保護者同士や保護者と地域をつなぐ取組みとして、少しずつ定着してきています。



茶話会

家庭教育学級

6月8日(土)、7月4日(木)、11月10日(日)の3回、コミュニティ・スクール主催の家庭教育学級が開催されました。保護者と地域の皆さまを招いて、地域の危険箇所、地域での子育てなどについて共に話し合い、考えを深め合うことができました。

1回目は、子どもたちの登下校の安全について話し合い、そのあと下校参観を行いました。



地区ごとに話し合っている様子

2回目は、「はや寝の件とスマホ・タブレットの付き合い方」、「平成31年1月の家庭教育学級で取り決めた『あいさつ』・『交通ルールをまもる』」ために、家庭、地域の行動目標が守られているか」について話し合いました。

3回目は、「地域のよさ」について、西網道地区のプレゼンテーションを聞き、自分たちの地区の自慢や残したいことなどについて話し合いました。4回目は2月28日(金)に予定しています。

学習支援ボランティア

地域や保護者の皆さまにご協力いただき、教室を巡回し、児童の学習の様子を見てもらう「教室巡回ボランティア」や朝自習の「丸つけボランティア」などの学習支援ボランティアに取り組んでいただいています。学習支援ボランティアの皆さまのおかげで、児童の学習に向かう姿勢が確かなものとなり、児童の学習の基礎づくりを進めることができています。



12月20日(金)には、お世話になっている丸つけボランティアと竜の子お話会の皆さまを学校にお招きして、児童と一緒に給食を食べる「ありがとう給食会」を実施しました。地域の皆さまも児童に積極的に声をかけていただき、地域とのつながりも深めることができました。

登下校の見守り

地域の皆さまに協力していただき、それぞれの地区の危険箇所、児童の下校時刻にあわせて見守りをいただいています。毎日見守りをしてくださるボランティアの皆さまにお礼の気持ちを伝えるために、12月には、各地区の区長さんを通じて児童のお礼の手紙を届けました。

この見守り活動を通して、児童が安心して登下校ができるようになりました。

竜西ふれあいフェスタ

11月10日(日)に「ありがとうふるさと～地域とふれあい、地域に伝える」をテーマに、コミュニティ・スクール主催の竜西ふれあいフェスタが開催されました。今年度は、キャリア教育の一環として、学校運営協議会から委託を受けた6年生が、広報、運営のお手伝いをしました。当日は、各学年の児童が氷川町の人・もの・仕事について学んだことの発表、家庭教育学級、そして、地域の皆さまとのふれあい活動、PTAによるバザーが行われました。たくさんの地域の皆さまや保護者に参加していただき、ふるさと氷川町のよさをみんなで実感することができました。



様々な活動を企画していただいたコミュニティ・スクール委員の皆さま、ご協力いただいているボランティアの皆さまには大変感謝しております。ありがとうございました。